



Tsukumo GO  
presents

禁忌

を犯す。

囚われの少年は

つくも号

落落

白あ群れ

いる花

R-18  
成人向け



Adam [アダム]

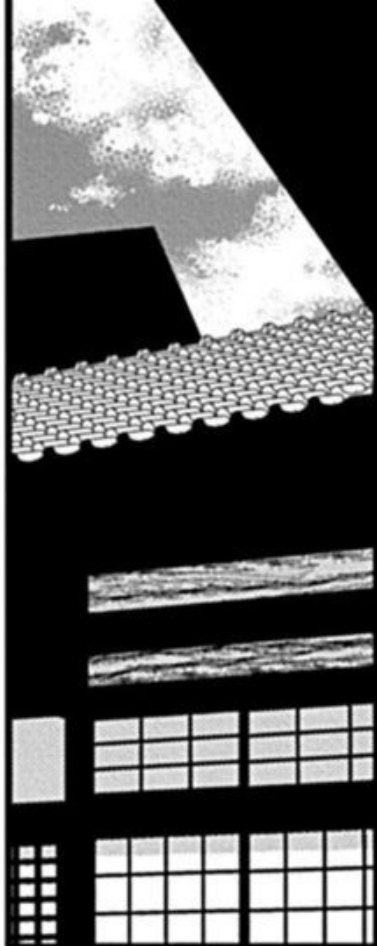


どっちにしても

いったん大学に戻って  
整理しないとだねえ



いやこりゃ  
随分  
集まっちゃったなあ



あのあと



ここへの滞在も  
あと二、三日くらいかな

君達  
そのつもりで  
片付けといてね

はい

二度ほど  
透のいる離れを訪れた



あの夜のことなんて  
何もなかったかのようだ  
振る舞う健気さが



逆に僕を苦しめた



帰る...?

あのこを  
置いて...?



お帰りの  
準備ですか?

ああ  
小野寺さん

まだもう少し  
ご厄介になるんですが

あと  
二、三日中には



この男への

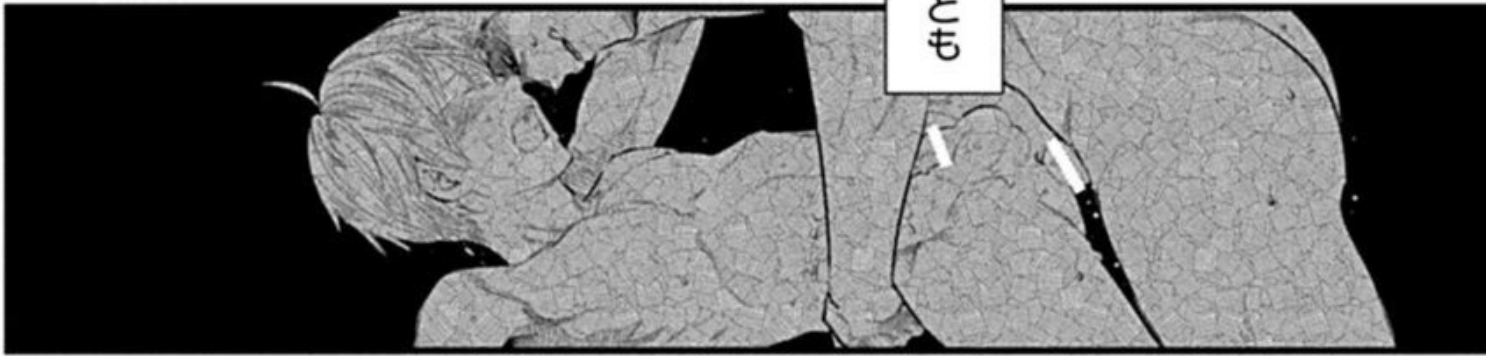
この気持ちは  
なんだ



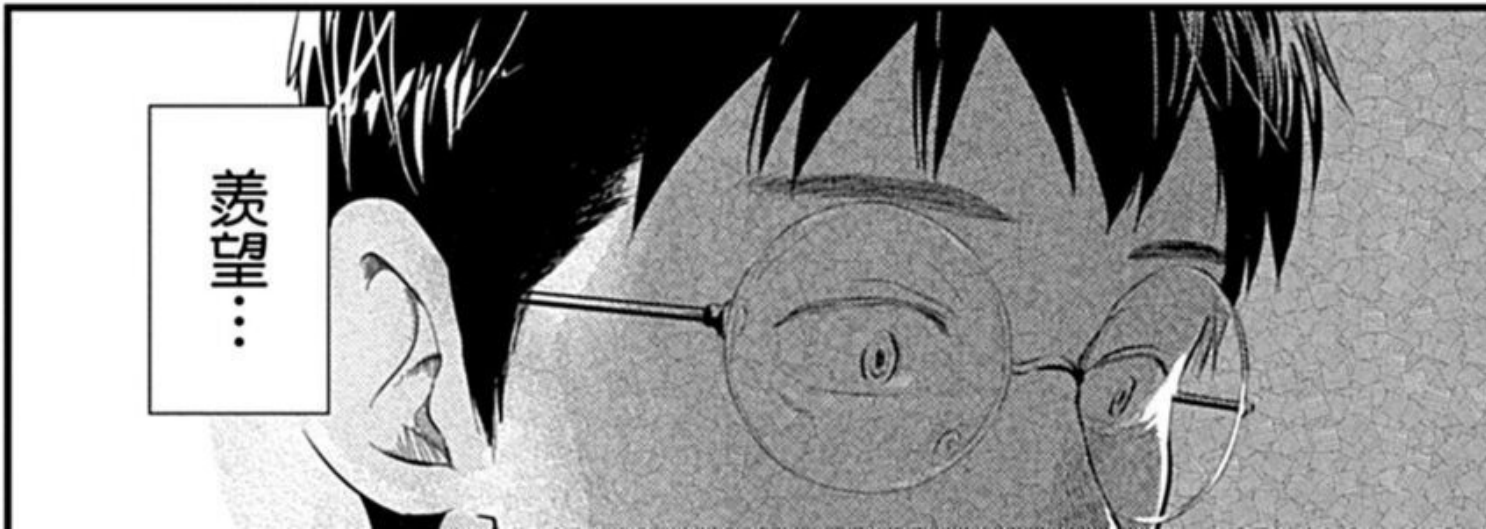
いえ  
なんのお役にも  
立てませんで

小野寺さんには  
随分お世話になって

嫌悪？



それとも



羨望…



そんな  
まさか

僕は

あのとき…

…帰ることに

なったんだ…





僕も  
一緒に行く

好きなんだ

一緒に  
行きたい！

えっ

高輪さんのことが……

いやそれは……

高輪さんと……





僕が

…汚れてるから？



どうしてダメなの？

僕が男だから？

こんな姿だから？

ちが…

それとも



.....



…そんなこと  
ないよ



僕には  
君が必要だって



言っ  
たら  
ろう？



離れ  
たく  
ない…

僕も  
君と

そ  
う

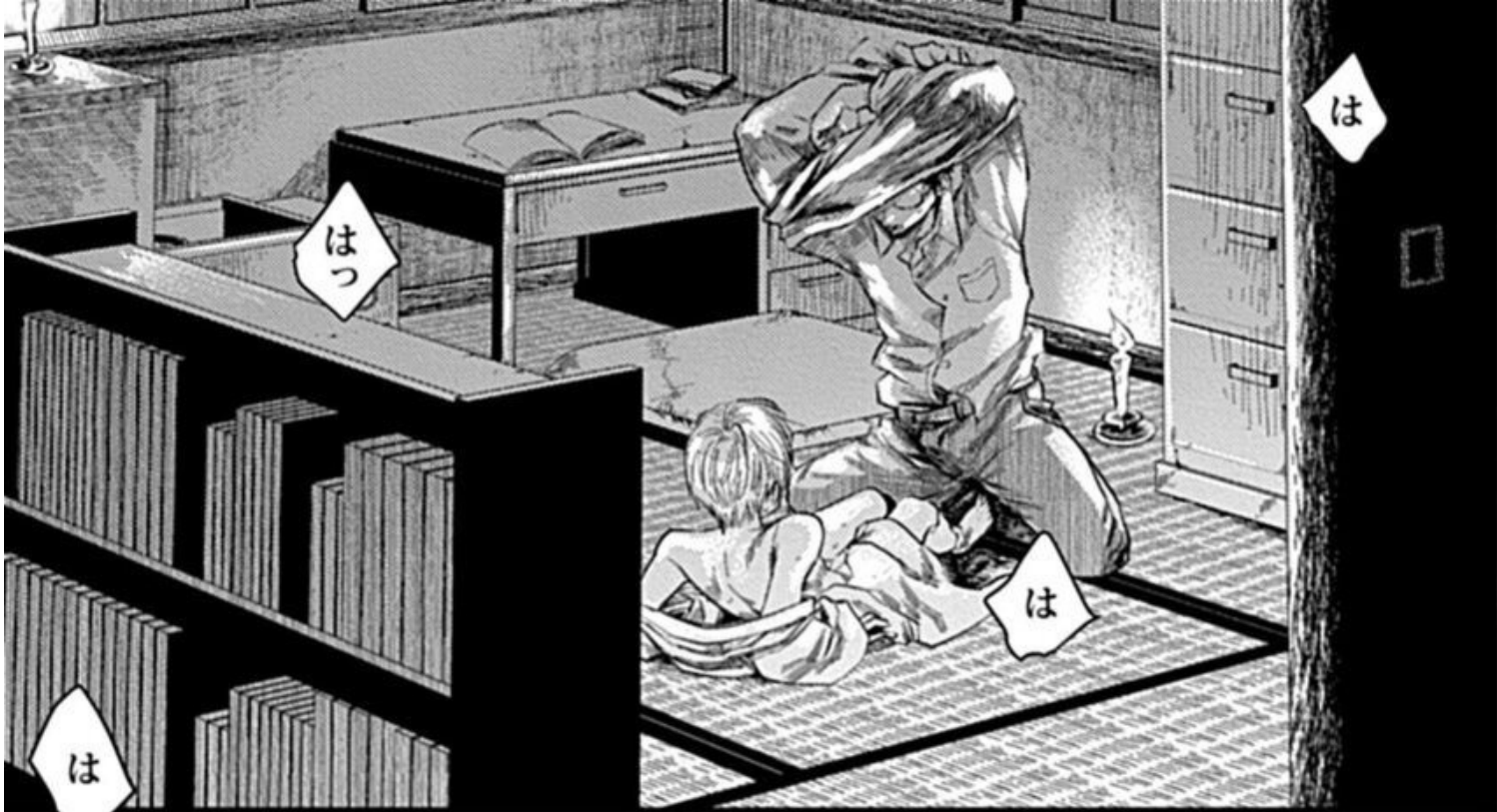


ず  
っ  
と  
触  
れ  
た  
か  
っ  
た

この  
美  
し  
い  
髪  
に

肌に





最初から  
魅入られていたのだ

あ

あああ……っ

この美しい  
少年に

…平気  
高輪さん…

はっ

はっ…

辛くない…？  
透くん…

はっ

はっ

はっ

嬉しい…

はっ



は  
透くん…っ



あ

あっ

あっ





もっど

高輪さんに  
気持ち良くなって  
欲しいんだ。



嬉しい

高輪さんが  
僕を  
求めてくれて



あ  
ちよっ

僕も



あ  
あー...

め

あ



透く...ん...っ

あ





ああっ

は

あ...

はっ

あああ...っ

は

は

は



高輪さんは  
ここで産まれた  
の？

そうだよ

なんにもない  
ところだけど  
海と空が綺麗でね



この辺？

そう  
その辺り

日本海に面した  
小さな町だよ



曇りの日はね

海と空の境目が  
曖昧になるんだ

へえ


ずっとどこまでも  
行けそうなの…

僕はその景色が  
好きでね


小さい時から  
ずっと見てきた




君にも見せたいな



やっぱり  
男を啜くえ込んでやがったか



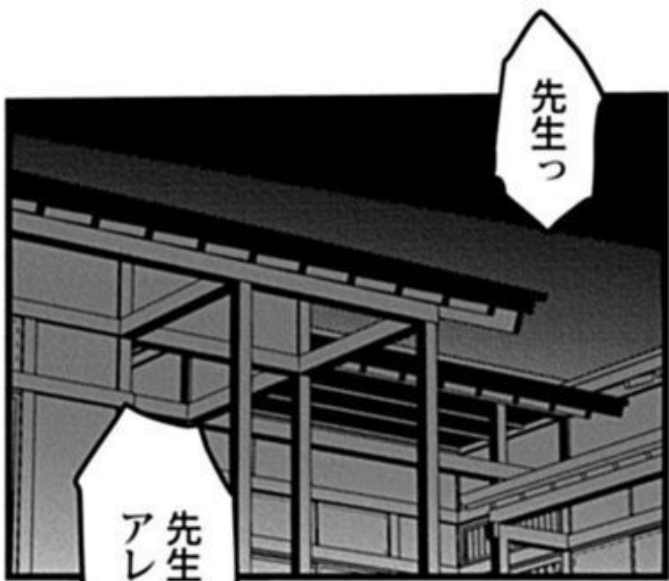
なんとか  
君のお父さんに  
許しをもらって



一緒に  
この村の外を  
見に行こう







こりやいかん…



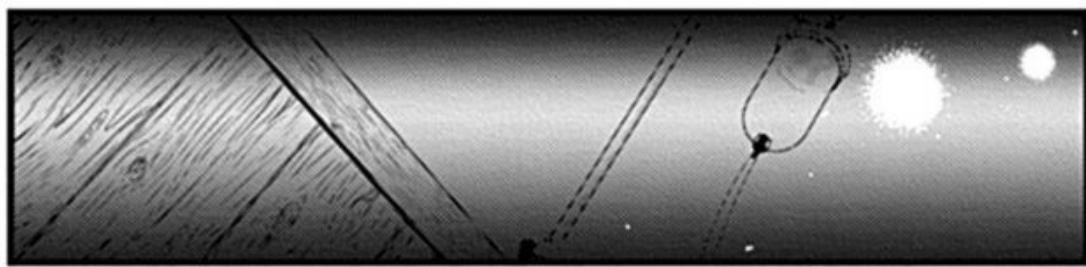
手を…っ



透くん  
コッ



透くん  
こっちに  
コッ





…志村先生…

高輪くんっ  
気が付いたかい…!



…僕は…

…



透くんっ

透くんもあそこに…っ

ちよ…

高輪くん  
起きちゃダメだよっ  
君絶対安静なんだからっ

ちよっと…  
看護婦さーんっっ

書物でいっぱいのは  
古い離れは



ここは隣の病院だよ

君は…  
土蔵の火事に  
巻き込まれて…

病院…?

…火事…



透くんは…?

…

火の回りが早く

消火も虚しく  
全て崩れ落ちたという

焼け落ちた土蔵の跡から  
見つかった遺体は一人だけ

年格好  
歯の治療痕から

あの小野寺という  
男だろうとの  
ことだった

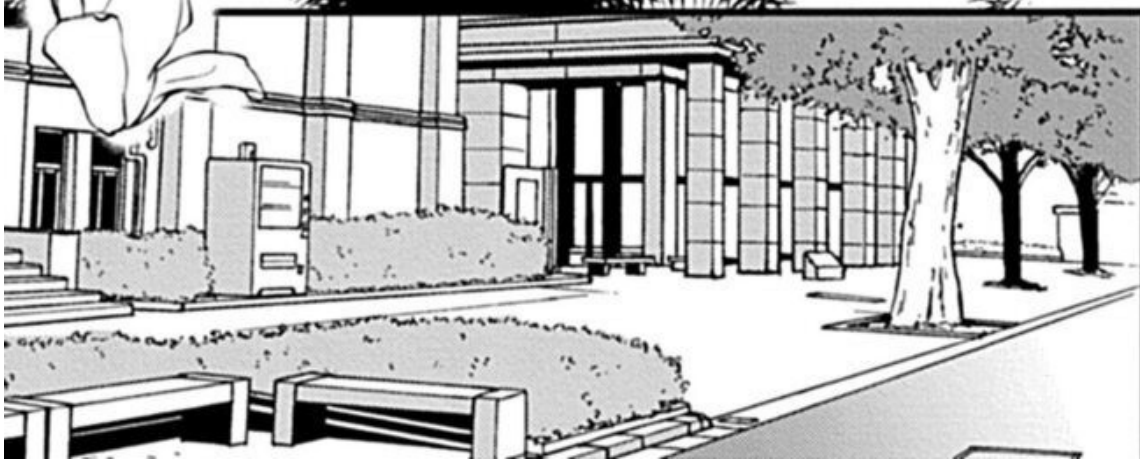
僕は周囲に必死に  
透の安否を訊ねたが



僕に突きつけられたのは



かつて死産で産まれた子以外に  
早坂氏に子はいないという事実だった





高輪さん  
大丈夫なんですか  
：あのあとずっと  
お休みされてますけど



先生  
：そっういえば



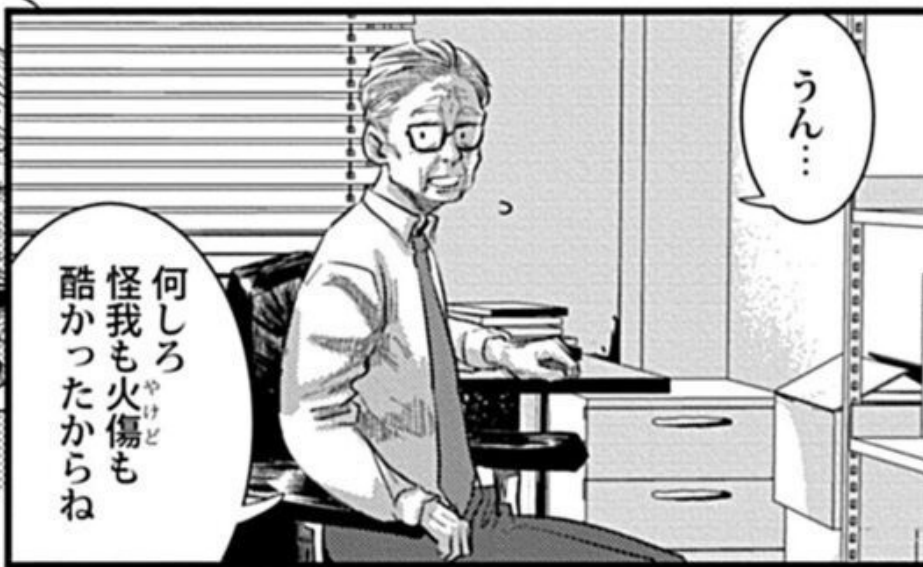
先生  
まとめた資料  
こちらに置いて  
おきますね

ああ  
ありがとう



拝啓

志村先生  
花曇りの昨今  
皆様お変わりは  
ないでしょうか



うん…

何しろ  
怪我も火傷も  
酷かったからね



しばらくは  
郷里で  
療養するそうだよ

そっういえば  
ついこの間  
葉書も届いたんだ

寒風も和らぎ

こちらもようやく  
春の兆しが見えて  
参りました

その節

大変ご心配とご迷惑を  
おかけした怪我も  
経過は順調で

今は杖無しで  
歩く練習も  
できるようです

陽春のみぎり

高輪さん

杖忘れてるよ

皆様の益々のご健勝を願って





やあ  
ありがとう

日差しは  
大丈夫だったかい？



うん

これぐらいなら  
平気

追伸



今年も郷里にも

あの白い花が  
咲きました

END

# Adam [ アダム ]

## 群れ落ちる白い花 3 【R18 版】

著者

つくも号

© TsukumoGO 2022

レーベル

アダムコミックス

発行

ブレインハウス

本作品はフィクションであり、実在の人物・団体・地名とは一切関係ありません。  
本書の無断転載・複写・複製・上演・放送・アップロード・デジタル化を禁じます。

本書を代行業者等第三者に依頼しスキャンや電子化することは、  
たとえ個人でのご利用であっても著作権法上認められておりません。